

東京都済生会中央病院にご入院された患者さま及びご家族の方へ（臨床研究に関するお知らせ）

当院では以下の臨床研究を実施しております。本研究では、診療で得られた過去の検査情報をまとめることにより行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

【研究課題名】

急性期の Electrical Impedance Tomography を使用した呼吸管理に関する検討

【研究責任者】

小林 亜理沙

【研究機関】

東京都済生会中央病院 集中治療科 救急診療科 臨床工学科

【本研究の目的】

急性期の人工呼吸器管理をする上で、呼吸器設定の調整、体位変換、リハビリテーションは非常に重要で、人工呼吸器早期離脱に大きく影響を及ぼします。従来聴診や動脈血液ガス分析、酸素飽和度測定によって、適切な設定、体位を検討してきました。胸部に微小電流を発生するベルトを巻き、空気と組織の抵抗の違いを用いて肺内の換気ガス分布を可視化し、ベッドサイドで非侵襲的に観察することができる Electrical Impedance Tomography（以下 EIT）というデバイスがあります。現在、肺の虚脱リスクの高い患者さんに EIT を用いて換気状態や含気量を測定し、適切な呼吸器設定を検討し、リハビリテーションの参考にしています。EIT を用いた観察をすることで、人工呼吸器離脱にどのような影響を及ぼすか、EIT を用いなかった患者さんと比較し、有意差があるか検討します。この研究で、将来的に EIT が人工呼吸器管理の早期離脱に役立てるようになることを目的としています。

【情報の他の研究機関への提供及び提供方法】

単施設研究であり、他院へ個人情報を提供する予定はありません。

【調査該当期間】

2019年4月～

【研究方法】

対象となる患者さん：上記期間に当院 EICU・ICU で診療を受け、人工呼吸器管理をした方

装置：Enlight 2100(TIMPEL 社製)

利用する情報：

カルテの診療記録／年齢、性別、身長、体重、主病名又は術名、人工呼吸器装着日数、挿管日数 等
臨床データ／人工呼吸器装着時の測定値、SpO₂、動脈血ガス分析結果、胸部レントゲン、胸部 CT 画像

【本研究の資金源】

本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

【お問い合わせ先】 電話 03-3451-8211 担当者 東京都済生会中央病院 臨床工学科 小林亜理沙